

『源氏物語』 の新たな一面

～ 醜女 末摘花の真実の姿を探る ～



多くの女性が登場する『源氏物語』の中で、ひときわ個性的な末摘花。

「普賢菩薩の乗り物（二象）」「赤鼻」と揶揄され、その言動も風変わりなため、彼女の登場場面は醜女（しこめ）の痴（おこ）話として語られてきました。

今回の講座では、マイナスイメージで固定されている末摘花の姿を様々な資料から捉え直し、彼女の新たな一面を見出します。

出 演： 井 真弓 (いのもと まゆみ)

文学博士。中古・中世の物語や和歌を研究

令和6年 10月8日(火)

時 間： 午後1時30分～午後3時30分
(開場：午後1時)

会 場： 武藏野スイングホール (スイングビル2階)
武藏野市境2-14-1 (武藏境駅北口から徒歩2分)

入場料： 無料 当日直接会場へ (定員 170名・先着順)

問合せ： 武藏野市老壯連合会 鈴村 090-7301-1989
武藏野プレイス 30-1901 (休館日:水曜日)

共 催： 武藏野市老壯連合会・武藏野市教育委員会 武藏野プレイス HP

